


2011年3月期 決算説明資料

 株式会社プレステージ・インターナショナル
大阪証券取引所 ジャスダック：4290

2011年5月13日



目次

事業概要・サービス概要

2011年3月期業績サマリー

2011年3月期事業別業績サマリー

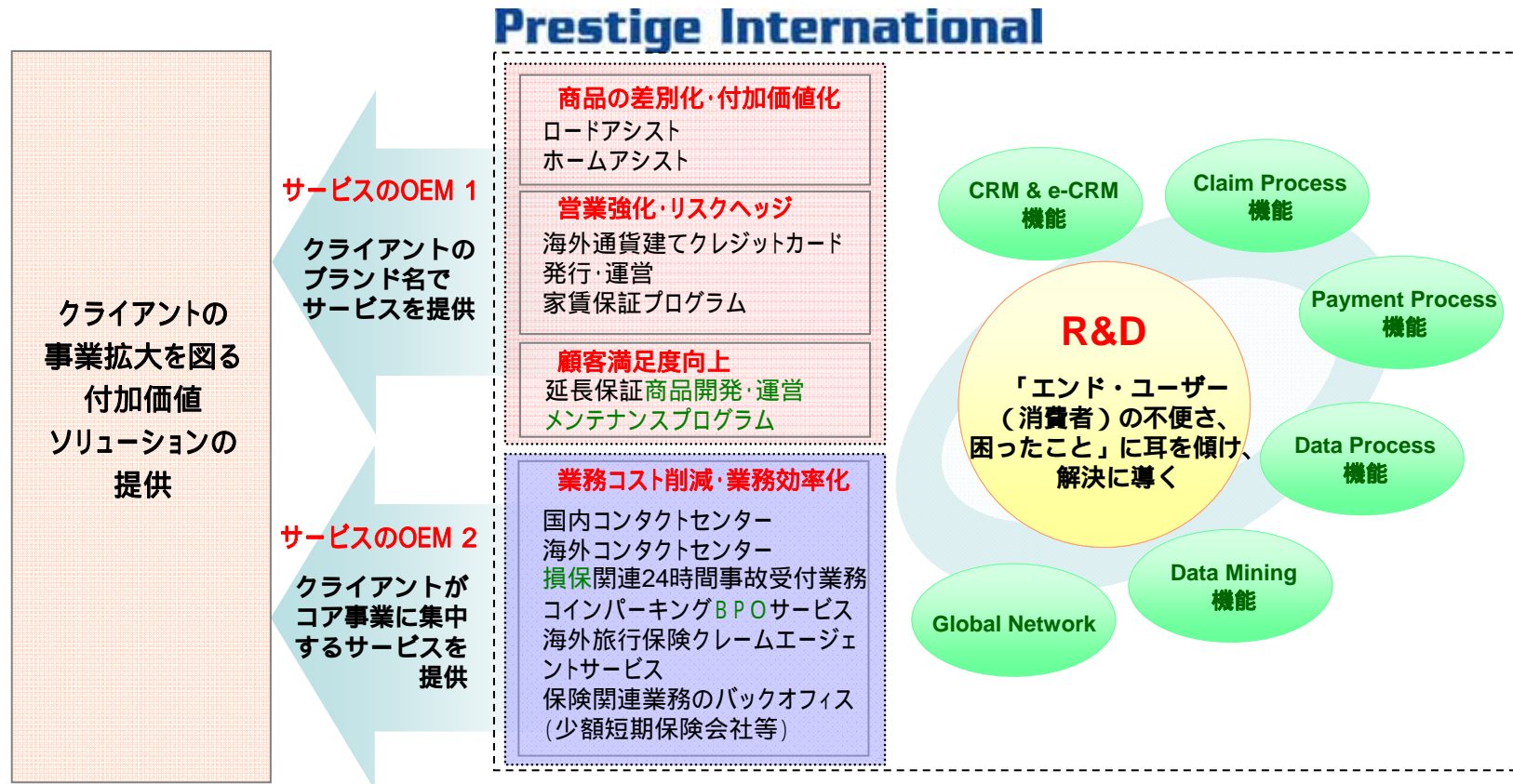
2012年3月期予想概況

2012年3月期事業別予想概況



事業概要

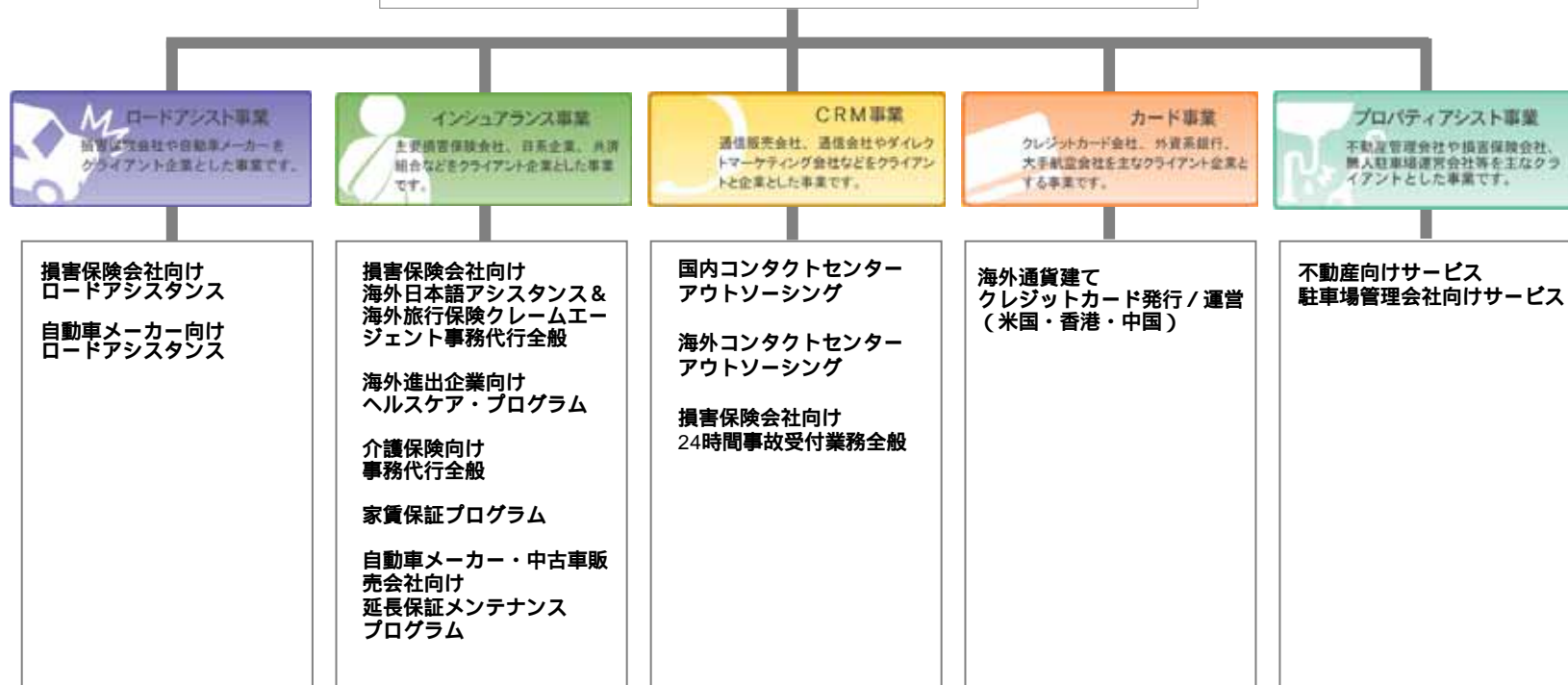
当社グループが提唱するBPO（ビジネス・プロセス・アウトソーシング）は、クライアント企業の経営資源をコア事業に集中することを促すとともに既存業務の効率化・コスト抑制を目的とした業務委託事業であり、クライアント企業のエンド・ユーザーに付加価値サービスを通してより高い満足を提供し、その結果、差別化と競争力が促進され企業価値向上を図ります。



サービス概要

「エンド・ユーザー(消費者)の不便さ、困ったこと」に耳を傾け、解決に導く
サービスのOEMメーカー

Prestige International



2011年3月期 業績サマリー



2011年3月期 エグゼクティブサマリー

1.

前年同期比で連結の売上高18.8%増、営業利益4.1%減と増収減益

2011年3月期通期業績予想（修正後）に対して、売上高は、19,210百万円と達成率100.6%、営業利益は2,291百万円と達成率99.6%

中期経営計画に対して、売上高の達成率は100.6%、営業利益の達成率は88.1%

円高の影響額は、売上高276百万円減、営業利益73百万円減

2.

前年同期比で売上高の増加を牽引したのは、サービスの利用増加が堅調であったロードアシスト事業とプロパティアシスト事業、そして平成22年2月に買収した子会社の売上高を計上したインシュアランス事業

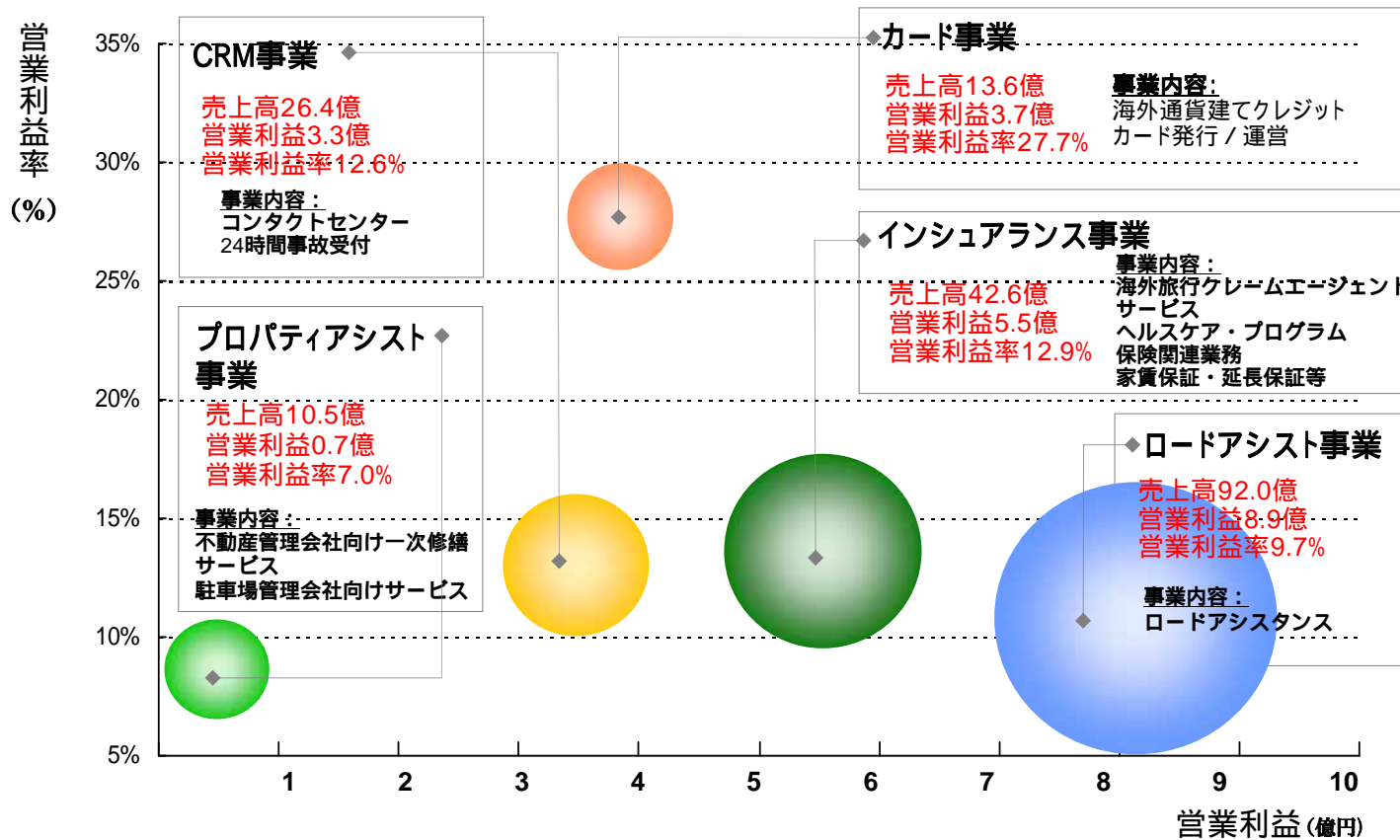
一方、前年同期比で営業利益の減少を招いたのは、サービスの利用増加に伴う費用増加と子会社の設備等の先行投資を行なったロードアシスト事業とプロパティアシスト事業、前年度末にアジア・オセアニア地域において収益性の高い大口案件の終了があったCRM事業

3.

売上高拡大のための既存事業の拡販活動及び戦略的先行投資を積極的に実施

収益改善の取り組みとして、季節要因による一時的な費用の上昇、円高等に対して、原価の管理強化と業務の効率化向上を推進。また、海外の現地法人における不採算部門の閉鎖を実施

事業別営業利益と営業利益率 (11/3月 通期)



東北地方太平洋沖地震の影響について

社員の安否

当社及びグループ会社社員については、全員の安全を確認済み

オフィス・設備の損害

当社及びグループ会社については、業務に支障をきたすような影響はなく、主要設備である秋田BPOキャンパスでは地震及び停電が発生する中で、自家発電装置の稼働などにより通常通りに稼働

業績への影響

2011年3月期における地震が弊社の経営成績に及ぼした影響は軽微

被災地への支援

当社グループでは、被災者の皆様の救援や被災地の復興に役立てていただくため、日本赤十字社を通して、10百万円の義援金を寄付

下請代金返還金に関して

下請代金返還金発生（協力会会費の自主返還）の経緯

平成22年12月において、平成21年5月まで協力会社から徴収していた「協力会会費」について、当社から協力会社への代金支払時に相殺した方法で徴収したことが、下請法の禁止行為の一つである「下請代金の減額」に該当するということから公正取引委員会より下請代金支払遅延等防止法に係わる指摘と調査を受ける

協力会会費の自主返還

上記の経緯から公正取引委員会の指摘を真摯に受け止め、協力会社に対して平成20年7月以降「協力会会費」として徴収した金額を自主的に返還することを決定し、返還を実施。これに伴い、平成23年3月期第3四半期において224百万円を特別損失（下請代金返還金）を計上。

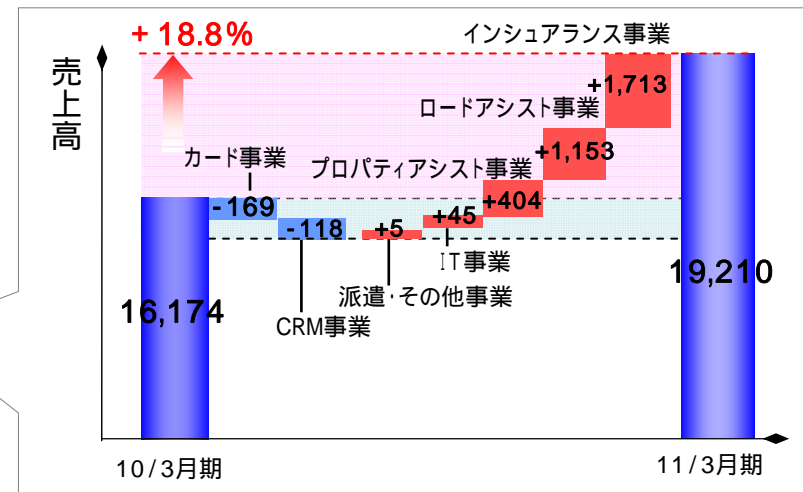
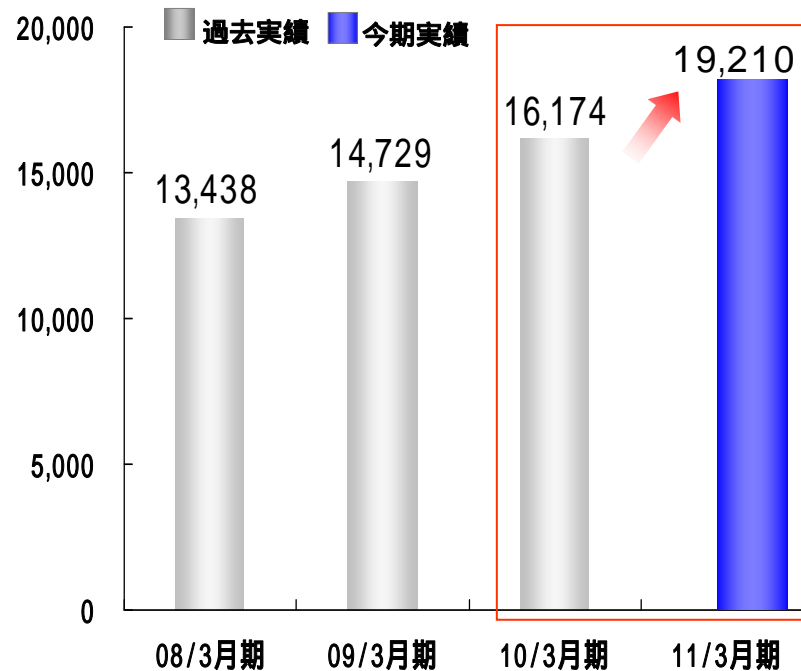
平成23年3月に「協力会会費」の徴収に関し、公正取引委員会から下請法第4条第1項第3号（下請代金の減額の禁止）の規定に違反するものであるとの勧告を受ける

再発防止への対応

勧告に従った対応を実施し、今後法令違反を起こさないために全グループを挙げてコンプライアンスの徹底を図り、再発防止に努めております

売上高の状況と増減要因

(単位：百万円未満切り捨て)

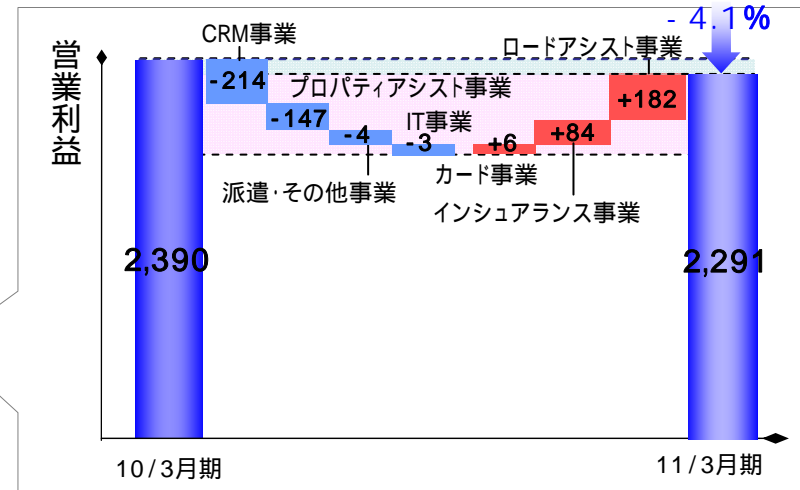
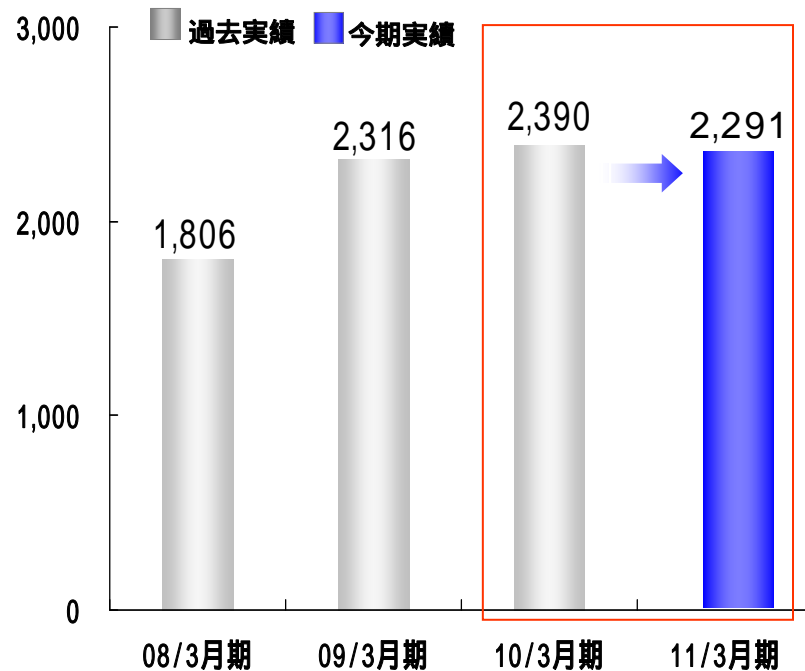


10/3月期	11/3月期	増減	増減率
16,174	19,210	+ 3,035	+ 18.8%

- ・売上高の増加を牽引したのは、ロードアシスト事業、インシュアランス事業とプロパティアシスト事業で、各事業の売上高は前年同期比1,153百万円（14.3%増）、1,713百万円（67.1%増）、404百万円（62.4%増）、円高による売上高に対する影響額は276百万円減

営業利益の状況と増減要因

(単位：百万円未満切り捨て)



10/3月期	11/3月期	増減	増減率
2,390	2,291	-98	-4.1%

- 前年同期比でCRM事業とプロパティアシスト事業の減益の影響が大きく、各事業の営業利益は前年同期比214百万円減（39.1%減）、147百万円減（66.5%減）、円高による営業利益に対する影響額は73百万円減

損益計算書サマリー

(単位：百万円未満切り捨て)

	10/3月期	11/3月期	前年同期比	
	金額	金額	増減	増減率
売上高	16,174	19,210	+ 3,035	+ 18.8%
売上原価 (売上対比)	12,083 (74.7%)	14,957 (77.9%)	+ 2,874	+ 23.8%
売上総利益 (売上対比)	4,091 (25.3%)	4,252 (22.1%)	+ 161	+ 3.9%
販管費 (売上対比)	1,701 (10.5%)	1,961 (10.2%)	+ 259	+ 15.3%
営業利益 (売上対比)	2,390 (14.8%)	2,291 (11.9%)	- 98	- 4.1%
経常利益 (売上対比)	2,434 (15.0%)	2,360 (12.3%)	- 73	- 3.0%
当期純利益 (売上対比)	1,587 (9.8%)	1,145 (6.0%)	- 442	- 27.8%

ロードアシスト事業、プロパティアシスト事業の費用の増加及び、子会社の設備などの先行投資

主に人件費の増加

売上原価の増加と販管費の増加に伴い減少

- ・ 既存事業の売上高が堅調に増加、それと伴に売上原価も増加
- ・ ロードアシスト事業とプロパティアシスト事業において、サービスの利用増加とサービス利用単価の上昇、子会社の設備等の先行投資が売上原価を引き上げた要因

連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

（単位：百万円未満切り捨て）

	10/3月期	11/3月期	増 減
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,603	1,612	+ 9
投資活動によるキャッシュ・フロー	- 1,291	- 900	+ 391
財務活動によるキャッシュ・フロー	- 270	- 23	+ 247
現金及び現金同等物 に係る換算差額	20	- 107	- 127
現金及び現金同等物の増減額	61	582	+ 520
現金及び現金同等物の期末残高	4,036	4,618	+ 582

連結貸借対照表 (要約)

(単位：百万円未満切り捨て)

	10/3月期	11/3月期	増 減	増減の主な要因
. 流動資産	8,365	9,644	+ 1,278	現金・預金 + 477 受取手形及び売掛金 + 195 有価証券 + 291 立替金 + 278
. 固定資産	2,778	2,731	- 46	
資産合計	11,143	12,375	+ 1,232	
. 流動負債	3,954	4,295	+ 341	前受金 + 182 短期借入金 + 100
. 固定負債	254	329	+ 74	資産除去債務 + 131 その他 - 40
. 純資産	6,934	7,751	+ 816	当期純利益 + 1,145
負債純資産合計	11,143	12,375	+ 1,232	

2011年3月期 事業別業績サマリー



事業別- 売上高

(単位：百万円未満切り捨て)

	10/3月期	11/3月期		11/3月期	増減額 (増減率)		
	実績	中経予算	修正予算	実績	対前期	対中経	対修正予算
売上高 合計	16,174	19,100	19,100	19,210	+ 3,035 (+18.8%)	110 (+ 0.6%)	110 (+ 0.6%)
ロードアシスト事業 (売上対比)	8,050 (49.8%)	8,603 (45.0%)	9,093 (47.6%)	9,203 (47.9%)	+ 1,153 (+ 14.3%)	+ 600 (+ 7.0%)	+ 110 (+ 1.2%)
インシュアランス事業 (売上対比)	2,554 (15.8%)	4,281 (22.4%)	4,276 (22.4%)	4,268 (22.2%)	+ 1,713 (+ 67.1%)	- 12 (- 0.3%)	- 7 (- 0.2%)
CRM事業 (売上対比)	2,767 (17.1%)	3,060 (16.0%)	2,644 (13.8%)	2,648 (13.8%)	- 118 (- 4.3%)	- 411 (-13.4%)	+ 4 (+ 0.2%)
カード事業 (売上対比)	1,533 (9.5%)	1,492 (7.8%)	1,374 (7.2%)	1,364 (7.1%)	-169 (- 11.0%)	- 127 (- 8.5%)	- 9 (- 0.7%)
プロパティアシスト事業 (売上対比)	648 (4.0%)	935 (4.9%)	1,030 (5.4%)	1,052 (5.5%)	+ 404 (+ 62.4%)	+ 117 (+12.6%)	+ 22 (+ 2.2%)
IT事業 (売上対比)	466 (2.9%)	548 (2.9%)	518 (2.7%)	512 (2.7%)	+ 45 (+ 9.8%)	- 35 (- 6.4%)	- 5 (- 1.0%)
派遣・その他事業 (売上対比)	152 (0.9%)	178 (0.9%)	160 (0.8%)	158 (0.8%)	+ 5 (+ 3.9%)	- 19 (- 10.8%)	- 1 (- 0.7%)

事業別- 営業利益

(単位：百万円未満切り捨て)

	10/3月期	11/3月期		11/3月期	増減額 (増減率)		
	実績	中経予算	修正予算	実績	対前期	対中経	対修正予算
営業利益 合計	2,390	2,600	2,300	2,291	- 98 (- 4.1%)	- 308 (- 11.9%)	- 8 (- 0.4%)
ロードアシスト事業 (営業利益率)	713 (8.9%)	916 (10.6%)	874 (9.6%)	895 (9.7%)	+ 182 (+ 25.6%)	- 20 (- 2.2%)	+ 21 (+ 2.5%)
インシュアランス事業 (営業利益率)	467 (18.3%)	651 (15.2%)	591 (13.8%)	551 (12.9%)	+ 84 (+ 18.1%)	- 99 (- 15.2%)	- 39 (- 6.6%)
CRM事業 (営業利益率)	548 (19.8%)	478 (15.6%)	298 (11.3%)	334 (12.6%)	- 214 (- 39.1%)	- 143 (- 30.1%)	+ 36 (+ 12.1%)
カード事業 (営業利益率)	372 (24.3%)	386 (25.9%)	390 (28.4%)	378 (27.7%)	+ 6 (+1.8%)	- 7 (- 1.9%)	- 11 (- 2.9%)
プロパティアシスト事業 (営業利益率)	221 (34.2%)	130 (13.9%)	84 (8.2%)	74 (7.0%)	- 147 (- 66.5%)	- 55 (- 42.9%)	- 9 (- 11.7%)
IT事業 (営業利益率)	46 (9.9%)	13 (2.4%)	43 (8.3%)	42 (8.3%)	- 3 (- 7.7%)	+ 29 (+ 228.9%)	- 0 (- 0.6%)
派遣・その他事業 (営業利益率)	11 (7.7%)	21 (11.8%)	7 (4.4%)	7 (4.5%)	- 4 (- 39.6%)	- 13 (- 66.1%)	+ 0 (+1.7%)

2011年3月期 事業別業績サマリー



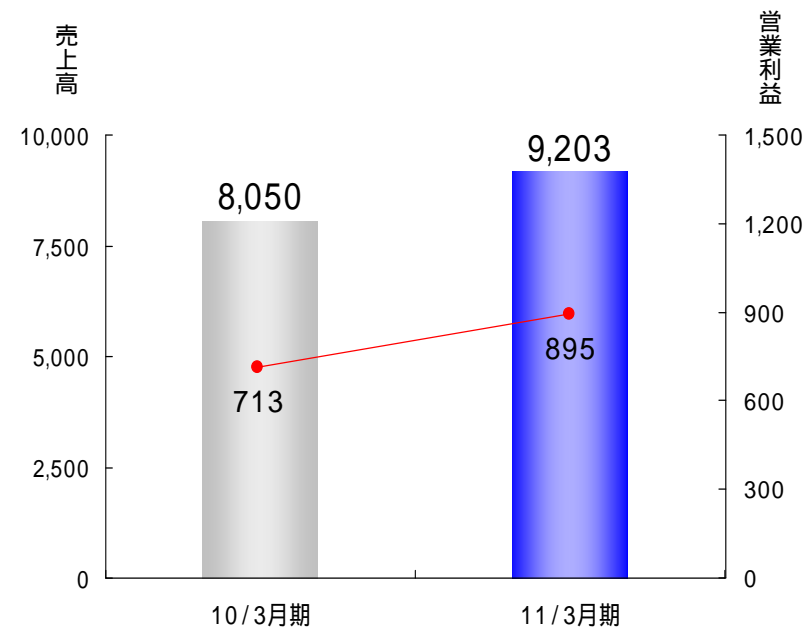
事業別- ロードアシスト事業

(単位：百万円未満切り捨て)

- ▶ 損害保険会社向けサービスにおいて既存受託業務が成長し、売上高が増加
- ▶ 大雨・猛暑・降雪等の季節要因によるサービスの利用増加に伴い費用増加
- ▶ 子会社における拠点拡大の設備投資等の費用発生

業績サマリー

一時的な費用増加と先行投資費用が発生するも、既存受託業務の成長により増収増益



	10/3月期	11/3月期	前年同期比	
	通期	通期	金額	増減率
売上高	8,050	9,203	+ 1,153	+ 14.3%
営業利益	713	895	+ 182	+ 25.6%
営業利益率	8.9%	9.7%		+ 0.8%

注)営業利益率の増減率の値は、実績値を差引いて算出しております。

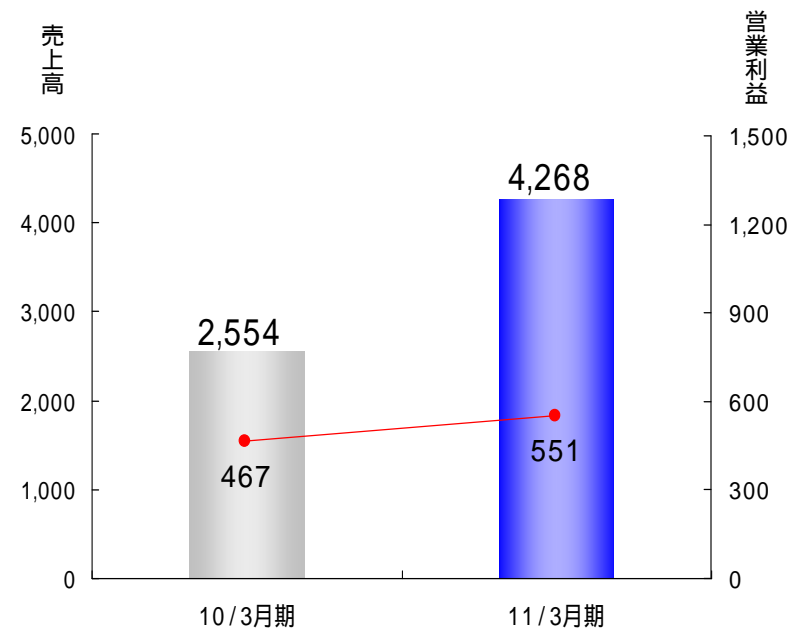
事業別- インシュランス事業

(単位：百万円未満切り捨て)

- ▶ 平成22年2月に買収した子会社の売上高計上により、売上高が増加
- ▶ 延長保証メンテナンスプログラムと少額短期保険関連業務が順調に成長
- ▶ 円高進行による業績予想に対しての影響額は、売上高80百万円減、営業利益26百万円減

業績サマリー

減収要因はあったものの、主要サービスの売上高増加により増収増益



	10/3月期	11/3月期	前年同期比	
	通期	通期	金額	増減率
売上高	2,554	4,268	+ 1,713	+ 67.1%
営業利益	467	551	+ 84	+ 18.1%
営業利益率	18.3%	12.9%		- 5.4%

注)営業利益率の増減率の値は、実績値を差引いて算出しております。

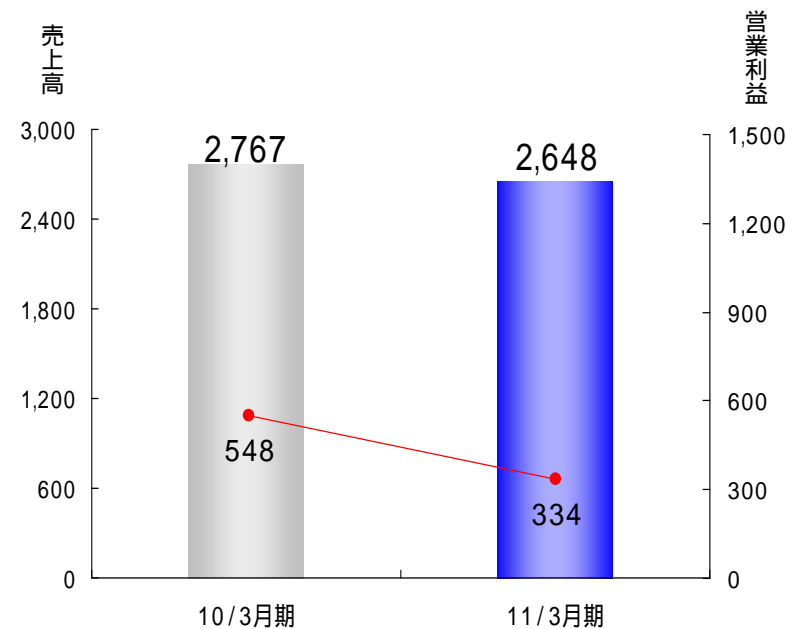
事業別- CRM事業

(単位：百万円未満切り捨て)

- ▶ 国内において、既存の通販関連及びインターネット関連業務が堅調に推移
- ▶ 今期から開始した事故受付業務が売上高に寄与
- ▶ 新規サービスの受託が計画を下回り、収益に大きく影響。また、前期におけるアジア・オセアニア地域での大口案件の業務終了も収益を下回る要因

業績サマリー

既存事業の成長及び事業全体の原価管理の徹底を行うも、新規サービスの受託遅延と大口案件の業務終了の影響により、減収減益



	10/3月期	11/3月期	前年同期比	
	通期	通期	金額	増減率
売上高	2,767	2,648	- 118	- 4.3%
営業利益	548	334	- 214	- 39.1%
営業利益率	19.8%	12.6%		- 7.2%

注)営業利益率の増減率の値は、実績値を差引いて算出しております。

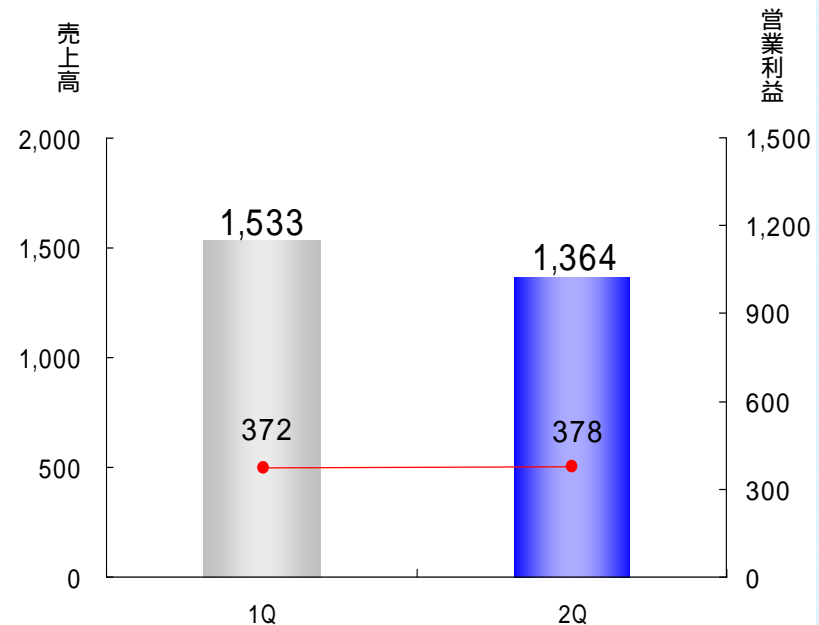
事業別- カード事業

(単位：百万円未満切り捨て)

- ▶ 前年同期比でカード会員数は米国4.9%、香港10.3%、中国21.2%増加
- ▶ 業務の効率化及び原価管理の強化による費用抑制を促進
- ▶ 円高進行による業績予想に対しての影響額は、売上高161百万円減、営業利益43百万円減

業績サマリー

円高の影響を受け売上高は減少となるものの、費用抑制により、減収増益



	10/3月期	11/3月期	前年同期比	
	通期	通期	金額	増減率
売上高	1,533	1,364	- 169	- 11.0%
営業利益	372	378	+ 6	+ 1.8%
営業利益率	24.3%	27.7%		+ 3.4%

注)営業利益率の増減率の値は、実績値を差引いて算出しております。

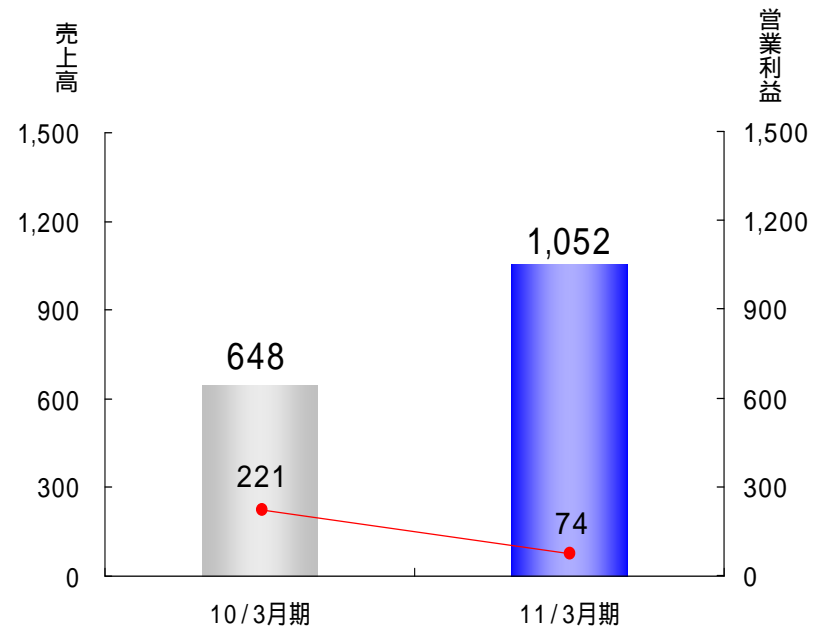
事業別- プロパティアシスト事業

- ▶ 不動産向けサービスにおいて新規受託業務及び契約当たりのサービス対象件数が増加
- ▶ 駐車場管理会社向けサービスにおいて、新規クライアント企業からの受託業務が順調に拡大
- ▶ サービス利用に伴う費用増加、新規受託業務の立上げ費用や子会社における設備投資等が発生

業績サマリー

売上高は堅実に拡大したが、サービス利用に伴う費用増加により、増収減益

(単位：百万円未満切り捨て)



	10/3月期	11/3月期	前年同期比	
	通期	通期	金額	増減率
売上高	648	1,052	+ 404	+ 62.4%
営業利益	221	74	- 147	- 66.5%
営業利益率	34.2%	7.0%		- 27.2%

注)営業利益率の増減率の値は、実績値を差引いて算出しております。

第三次中期経営計画における進捗状況 1

(単位：百万円未満切り捨て)

		2011年3月期 (中期経営計画)	2011年3月期 (実績)	増減	増減率
合計	売上高	19,100	19,210	+ 110	+ 0.6%
	営業利益	2,600	2,291	-308	- 11.9%
ロードアシスト事業	売上高	8,603	9,203	+ 600	+ 7.0%
	営業利益	916	895	- 20	- 2.2%
インシュアランス事業	売上高	4,281	4,268	- 12	- 0.3%
	営業利益	651	551	-99	- 15.2%
CRM事業	売上高	3,060	2,648	- 411	- 13.4%
	営業利益	478	334	- 143	- 30.1%
カード事業	売上高	1,492	1,364	- 127	- 8.5%
	営業利益	386	378	- 7	- 1.9%
プロパティアシスト事業	売上高	935	1,052	+ 117	+ 12.6 %
	営業利益	130	74	- 55	- 42.9 %
IT事業	売上高	548	512	- 35	- 6.4%
	営業利益	13	42	+ 29	+ 228.9%
派遣・その他事業	売上高	178	158	- 19	- 10.8%
	営業利益	21	7	- 13	- 66.1 %

第三次中期経営計画における進捗状況 2

1.

第三次中期経営計画の政策の重要な位置付けは、営業利益率重視の政策から売上高を増加する政策へのシフト。計画の1年目として、売上高拡大を目的に事業の選択と集中並びに戦略的先行投資に傾注。その結果、営業利益は計画を下回るものの、売上高は計画通り推移

2.

フィールドワーク専門子会社（プレミアアシスト東日本と西日本、プレミア・プロパティサービス）のサービスネットワーク拡大及び業務効率化を図るITへの先行投資、平成24年4月稼働予定の秋田BPOキャンパスサテライト建設の決定等、計画的な先行投資を実施。また、全事業において各既存クライアント企業へ提供するサービス毎の採算性の見直しと改善。そしてオーストラリアの現地法人における不採算部門の閉鎖は、成長事業への経営資源を集中する上で必要不可欠な政策として推進

3.

次年度以降も計画に沿った売上高の増加を図るべく、成長事業と位置付けるロードアシスト事業、プロパティアシスト事業のサービスネットワークの拡大、インシュアランス事業において、新興国への拠点拡大の先行投資を計画。収益面に関しては、引き続き不採算サービスの見直し、システム化による業務効率の向上を促進

2012年3月期 予想概況



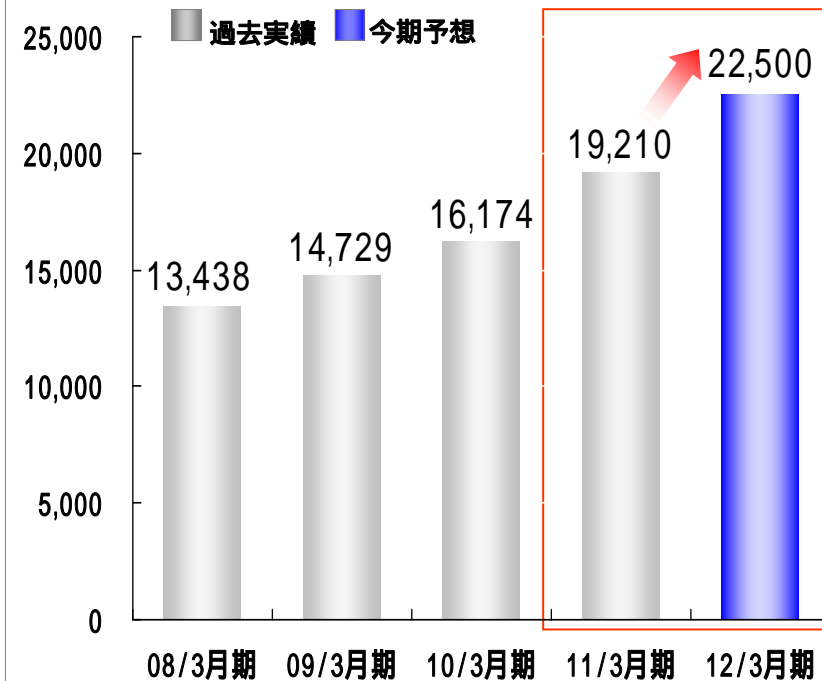
2012年3月期における予想概況 1 (全体)

(単位：百万円未満切り捨て)

売上高

予想売上高 22,500百万円
(前年同期比17.1%増)

- ▶ ロードアシスト事業において既存受託業務が堅調に増加することが見込まれる
- ▶ プロパティアシスト事業の不動産向けサービスにおいて、受託額増加に伴い、売上高が増加し、業績に寄与する見通し
- ▶ CRM事業において新規クライアントの獲得及びサービスの拡販をより一層強化



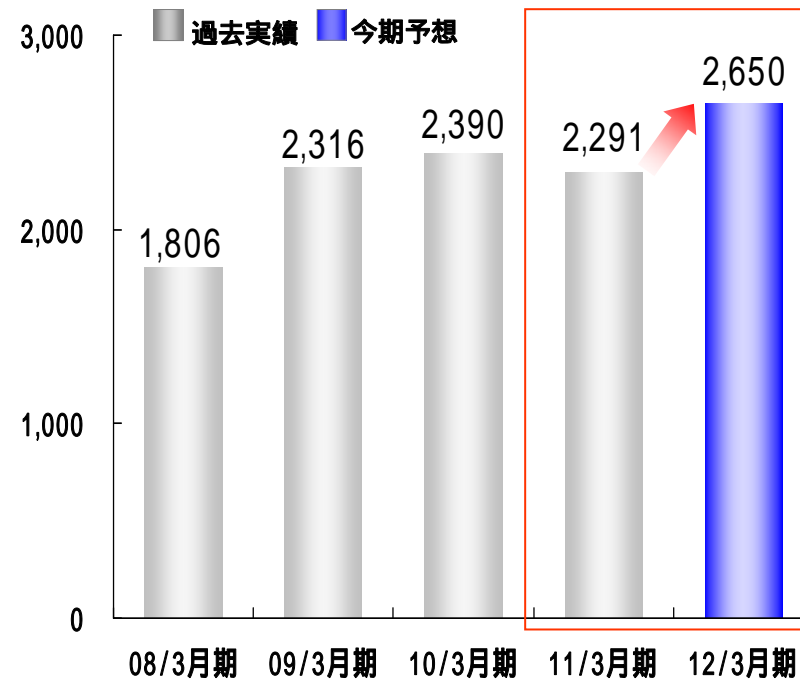
2012年3月期における予想概況 2 (全体)

(単位：百万円未満切り捨て)

営業利益

予想営業利益 2,650百万円
(前年同期比15.6%増)

- プロパティアシスト事業の不動産会社向けサービスにおける、受託額増加に伴い、収益改善が見込める
- インシュアランス事業における家賃保証プログラムにおいて、再保険費用の上昇が原価を引き上げる要因

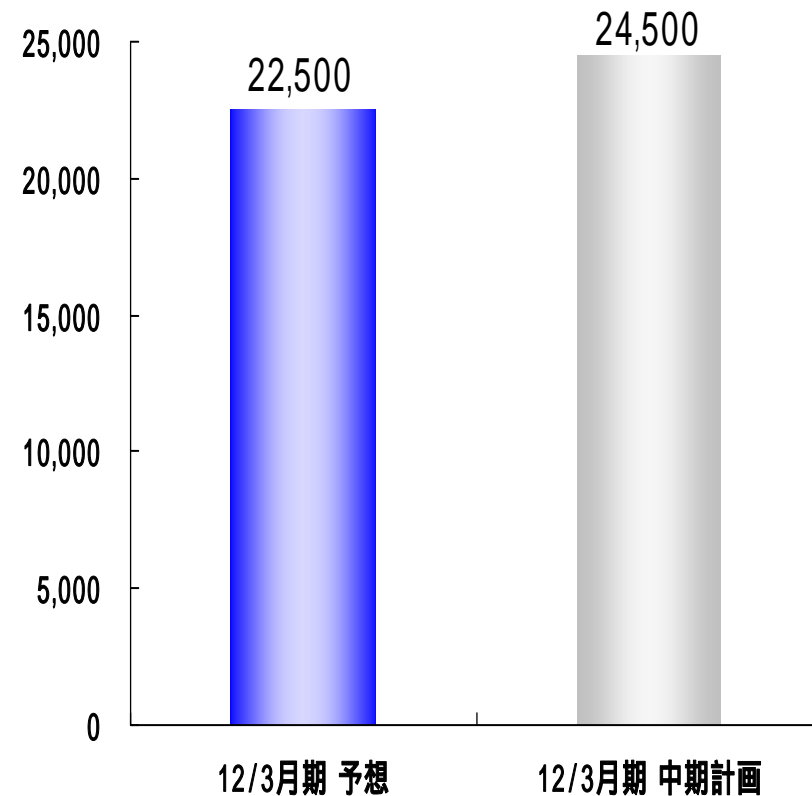


2012年3月期における予想と第三次中期経営計画との差異 1

(単位：百万円未満切り捨て)

売上高
差異要因

- ▶ インシュアランス事業の家賃保証プログラムにおいて、当初の計画を下回るため、696百万円の減収
- ▶ CRM事業において新規事業の受託遅延により、503百万円の減収
- ▶ オーストラリア現地法人の不採算部門閉鎖に伴い、計画時に折り込み済みの284百万円が減少

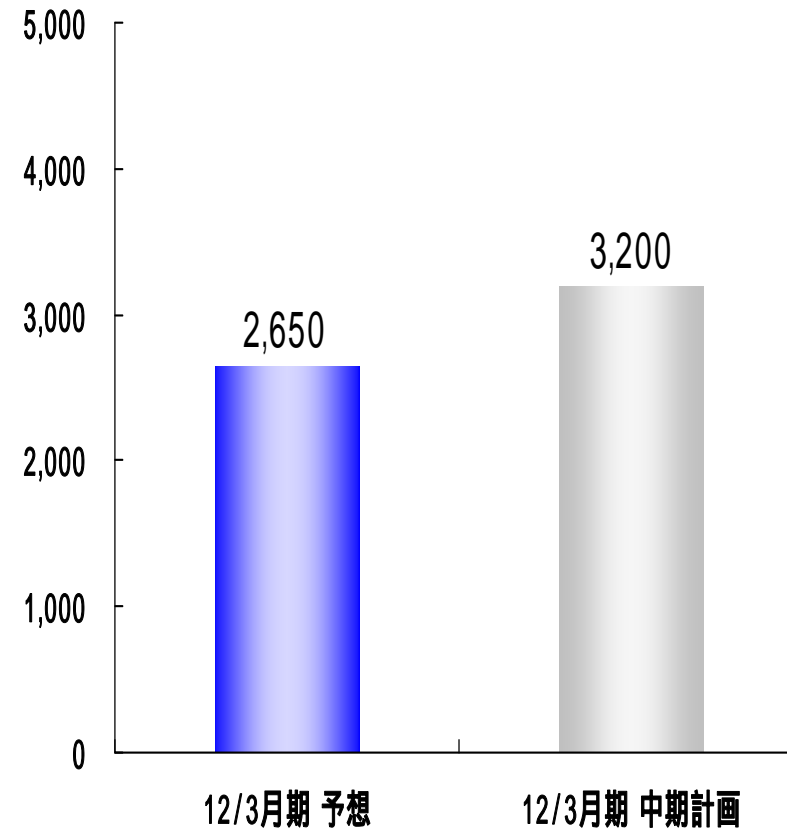


2012年3月期における予想と第三次中期経営計画との差異 2

(単位：百万円未満切り捨て)

営業利益
差異要因

- ▶ 家賃保証プログラムにおける再保険料上昇により、492百万円減益
- ▶ CRM事業において、新規事業の受託遅延により、161百万円。オーストラリアの不採算部門の閉鎖に伴い97百万円の減益



2012年3月期における予想と第三次中期経営計画との差異 3

(単位：百万円未満切り捨て)

【中期経営計画策定時と今期予想に対する円高の影響額】

		2012年3月期 (中期経営計画 策定時- \$1=¥90.00)	2012年3月期 (今期予算策定時 \$1=83.15)	影響額 (増減)	増減率
合計	売上高	22,686	22,500	- 186	- 8.2%
	営業利益	2,692	2,650	- 42	- 1.6%
ロードアシスト事業	売上高	10,301	10,301	-	-
	営業利益	1,281	1,281	-	-
インシュアランス事業	売上高	5,710	5,656	- 54	- 0.9%
	営業利益	342	327	- 15	- 4.6%
CRM事業	売上高	2,885	2,868	- 16	-0.6%
	営業利益	442	442	- 0	-0.0%
カード事業	売上高	1,532	1,417	- 114	- 7.2%
	営業利益	374	347	- 27	- 2.1%
プロパティアシスト事業	売上高	1,527	1,527	-	-
	営業利益	148	148	-	-
IT事業	売上高	533	533	-	-
	営業利益	82	82	-	-
派遣・その他事業	売上高	196	196	-	-
	営業利益	19	19	-	-

2012年3月期 事業別予想概況



2012年3月期業績予想売上高（事業別）

（単位：百万円未満切り捨て）

	11/3月期 (実績)	12/3月期 (中経予算)	12/3月期 (予想)	増減額 (増減率)	
	金額	金額	金額	前期対今期予想	中経対今期予算
売上高 合計	19,210	24,500	22,500	+ 3,289 (+ 17.1%)	- 2,200 (- 8.2%)
ロードアシスト事業 (売上対比)	9,203 (47.9%)	10,319 (42.1%)	10,301 (45.8%)	+ 1,097 (+ 11.9%)	- 17 (- 0.2%)
インシュアランス事業 (売上対比)	4,268 (22.2%)	6,367 (26.0%)	5,656 (25.1%)	+ 1,387 (+ 32.5%)	- 710 (- 11.2%)
CRM事業 (売上対比)	2,648 (13.8%)	3,942 (16.1%)	2,868 (12.7%)	+ 219 (+ 8.3%)	- 1,073 (- 27.2%)
カード事業 (売上対比)	1,364 (7.1%)	1,600 (6.5%)	1,417 (6.3%)	+ 52 (+ 3.9%)	- 182 (- 11.4%)
プロパティアシスト事業 (売上対比)	1,052 (5.5%)	1,358 (5.5%)	1,527 (6.8%)	+ 474 (+ 45.0%)	+ 169 (+ 12.5%)
IT事業 (売上対比)	512 (2.7%)	700 (2.9%)	533 (2.4%)	+ 20 (+ 4.0%)	- 166 (- 23.8%)
派遣・その他事業 (売上対比)	158 (0.8%)	211 (0.9%)	196 (0.9%)	+ 37 (+ 23.6%)	- 14 (- 7.0%)

2012年3月期業績予想 営業利益（事業別）

（単位：百万円未満切り捨て）

	11/3月期 (実績)	12/3月期 (中経予算)	12/3月期 (予想)	増減額 (増減率)	
	金額	金額	金額	前期対今期予想	中経対今期予算
営業利益 合計	2,291	3,200	2,650	+ 358 (+ 15.6%)	- 550 (- 17.2%)
ロードアシスト事業 (営業利益率)	895 (9.7%)	1,160 (11.2%)	1,281 (12.4%)	+ 385 (+ 43.1%)	+ 121 (+ 10.5%)
インシュアランス事業 (営業利益率)	551 (12.9%)	833 (13.1%)	327 (5.8%)	- 224 (- 40.7%)	- 506 (- 60.7%)
CRM事業 (営業利益率)	334 (12.6%)	559 (14.1%)	442 (15.4%)	+ 108 (+ 32.5%)	- 117 (- 20.8%)
カード事業 (営業利益率)	378 (27.7%)	388 (24.3%)	347 (24.5%)	- 31 (- 8.3%)	- 41 (- 10.5%)
プロパティアシスト事業 (営業利益率)	74 (7.0%)	207 (15.2%)	148 (9.7%)	+ 74 (+ 100.4%)	- 59 (- 28.2%)
IT事業 (営業利益率)	42 (8.3%)	25 (3.6%)	82 (15.5%)	+ 40 (+ 93.6%)	+ 57 (+ 231.1%)
派遣・その他事業 (営業利益率)	7 (4.5%)	25 (11.8%)	19 (10.1%)	+ 12 (+ 179.8%)	- 6 (- 20.3%)

2012年3月期における予想概況1（事業別）

ロードアシスト事業

引き続きロードサービスの認知度向上を背景に、サービスの利用増加を見込む

既存クライアント企業である損害保険会社に対して全自動車保険にロードアシスタンスが付帯されるよう営業強化を図り、増収を目指す

フィールドワーク専門子会社（プレミアアシスト東日本・西日本）の都道府県1拠点化においては、進出地域の既存対応件数やサービス拠点の採算性を勘案しつつ、拠点拡大並びに車両投資を計画

2009年度に導入した新システムを更に進化させるべく、アンドロイド端末をフィールドワーク専門子会社及び協力会社に導入し、更なる業務の効率化を図る

（単位：百万円未満切り捨て）

	2011年3月期 (実績)	2012年3月期 (予想)	前年同期比	
			金額	増減率
売上高	9,203	10,301	+ 1,097	+ 11.9%
営業利益	895	1,281	+ 385	+ 43.1%
営業利益率	9.7%	12.4%		+ 2.7%

注) 営業利益率の増減率の値は、実績値を差引いて算出しております。

2012年3月期における予想概況2（事業別）

インシュアランス事業

自動車メーカー・中古車販売会社向けの延長保証メンテナンスプログラムにおいて、販促強化が売上高増加に寄与する見込み

海外進出日系企業向けのヘルスケア・プログラムにおいて、新規クライアント企業獲得10社を目指し、損害保険会社との協力体制を強化

家賃保証事業の子会社においては、再保険料の上昇により費用増加となるが、原価の管理体制強化を継続的に実施すると共に、契約更新手数料収入による売上高増加を見込む

（単位：百万円未満切り捨て）

	2011年3月期 (実績)	2012年3月期 (予想)	前年同期比 予想	
			金額	増減率
売上高	4,268	5,656	+ 1,387	+ 32.5%
営業利益	551	327	- 224	- 40.7%
営業利益率	12.9%	5.8%		- 7.1%

注) 営業利益率の増減率の値は、実績値を差引いて算出しております。

2012年3月期における予想概況3 (事業別)

CRM事業

事故受付業務において既存受託業務の拡大を見込む

国内において通販関連とインターネット関連業務が引き続き順調に推移するとともに新規クライアントの獲得及び新サービスの利用促進に注力する

既存クライアント企業からの新規業務の受託を目指し、営業を強化

新規事業及びサービス創出に向け、経営資源を投入する計画

(単位：百万円未満切り捨て)

	2011年3月期 (実績)	2012年3月期 (予想)	前年同期比	
			金額	増減率
売上高	2,648	2,868	+ 219	+ 8.3%
営業利益	334	442	+ 108	+ 32.5%
営業利益率	12.6%	15.4%		+ 2.8%

注) 営業利益率の増減率の値は、実績値を差引いて算出しております。

2012年3月期における予想概況4（事業別）

カード事業

「東北地方太平洋沖地震」により、海外駐在員が各国への渡航時期の遅延、香港・中国の現地居住者による日本への余暇を目的とした日系航空会社の利用減により、カード会員の新規入会が一時的に減少する見込み

事業拡大地域を香港・中国と位置付け日系航空会社とのマーケティング強化を図るべく、営業増員を計画

既存会員並びに休眠会員に対するカードの利用促進を図る施策を実施

引き続き、業務効率化の向上と原価管理を強化

（単位：百万円未満切り捨て）

	2011年3月期 (実績)	2012年3月期 (予想)	前年同期比	
			金額	増減率
売上高	1,364	1,417	+ 52	+ 3.9%
営業利益	378	347	- 31	- 8.3%
営業利益率	27.7%	24.5%		- 3.2%

注) 営業利益率の増減率の値は、実績値を差引いて算出しております。

2012年3月期における予想概況5 (事業別)

プロパティアシスト事業

不動産向けサービスにおいては、前期に採算を狂わせていたサービスの委託単価見直しの完了に伴い、収益改善が見込める

既存クライアント企業である大手不動産ディベロッパーの高級分譲マンションへのサービス対象件数が増加する予定。また、新たなクライアント獲得のために拡販も引き続き強化

駐車場管理会社向けサービスにおいて、前期に獲得した新規クライアントに対して、サービス提供地域の拡大により売上高増加が見込める

フィールドワーク専門子会社プレミア・プロパティサービスにおいて、前年度の名古屋・大阪に引き続き、札幌・仙台・横浜・福岡にも拠点を新設計画

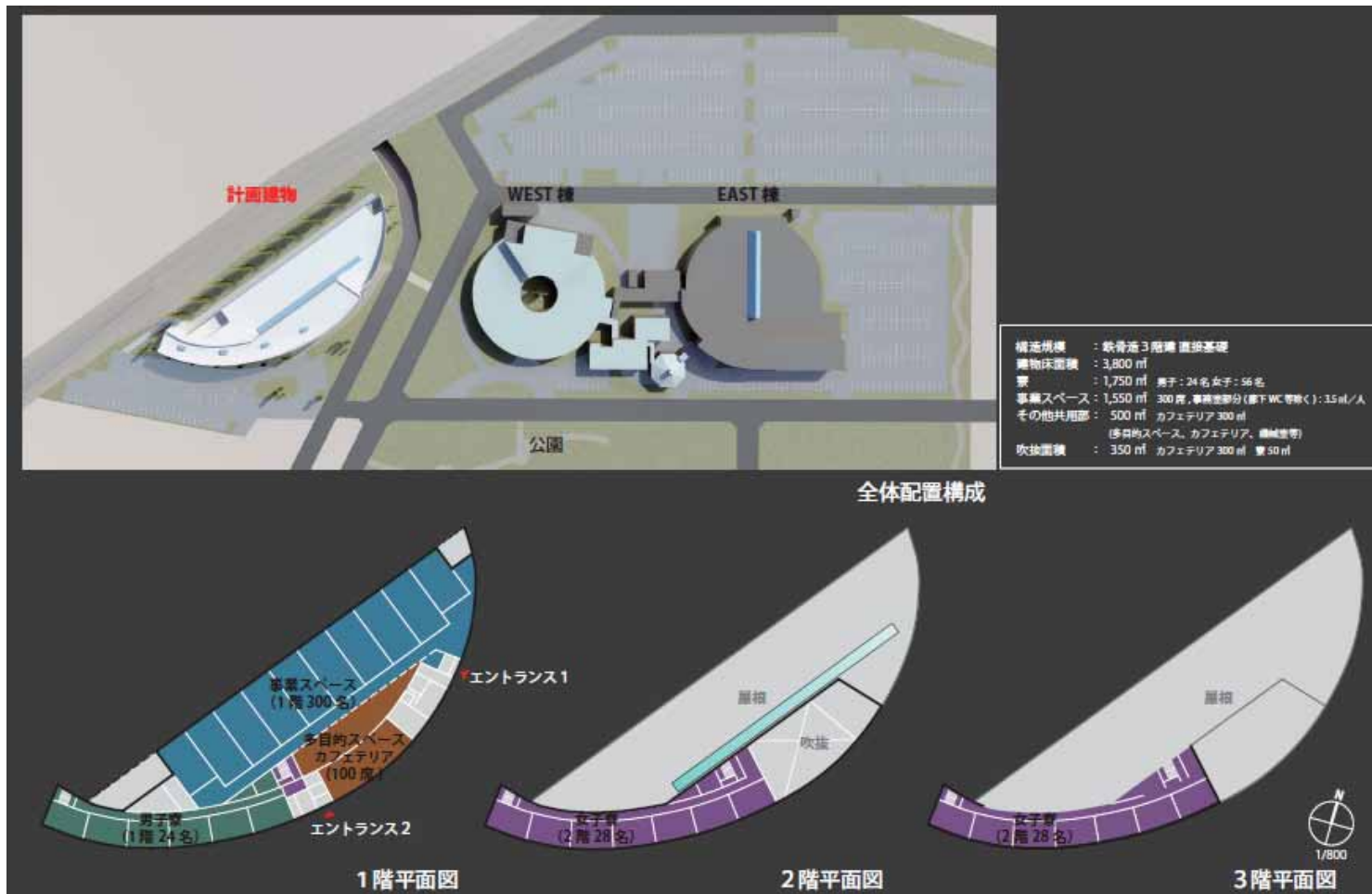
(単位：百万円未満切り捨て)

	2011年3月期 (実績)	2012年3月期 (予想)	前年同期比	
			金額	増減率
売上高	1,052	1,527	+ 474	+ 45.0%
営業利益	74	148	+ 74	+ 100.4%
営業利益率	7.0%	9.7%		+ 2.7%

注) 営業利益率の増減率の値は、実績値を差引いて算出しております。

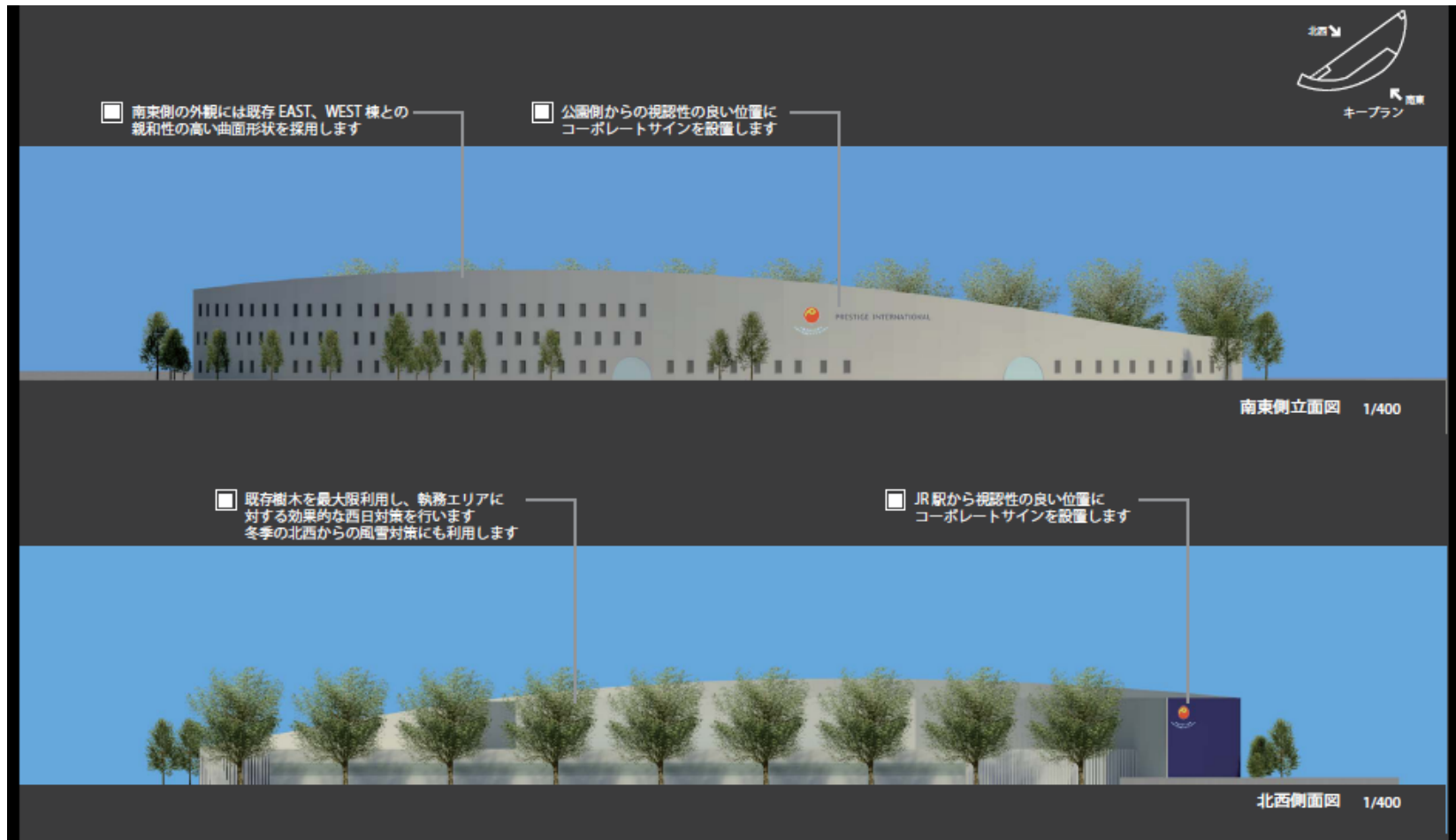
新規秋田BPOキャンパス サテライト建設に向けた進捗 1

設計状況



新規秋田BPOキャンパス サテライト建設に向けた進捗 2

設計状況



本資料に記載された将来の事項は、参考として記載したもので、その確実性に関して当社が将来に渡り保証するものではありません。本資料に記載された将来の事項は、経済情勢などの事業環境の変化によって予告なく変更することがあります。

また、「東北地方太平洋沖地震」が、当社の経営成績にどのような影響を与えるかを合理的に算定するのは非常に困難なため、次期の連結経営成績予想には、これらの影響を考慮しておりません。従いまして、実際の業績はこれらに記載した見通しとは異なる可能性があります。

震災の影響につきましても、継続的に情報収集と分析を行い、万が一、当社グループの業績に重大な影響が見込まれ、業績予想を修正する必要がある場合には、速やかに公表いたします。

このたびの震災により被災されました方々に対しましては、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

2011年3月期 決算説明資料

JASDAQ 株式会社プレステージ・インターナショナル
大阪証券取引所 ジャスダック：4290

2011年5月13日

